



音楽好きの住民が講師となり、小学生に楽器演奏を指導した「Jポップに挑戦」。誰でも音楽を楽しめるまちを目指し、住民の活動が動き出した13日、太白区の茂庭台市民センター

仙台・茂庭台 住民有志

ポップな交流響くまちに

仙台市太白区茂庭台の住民有志が、「誰でも音楽に親しめるまち」づくりを目指した取り組みを進めている。子どもたちの音楽活動の受け皿をつくること、地域の祭りなどでバンド演奏を披露してきた五十代が中心となり、近く「茂庭台音楽倶楽部（くらぶ）」を結成。地域での音楽祭開催を視野に入れて活動を展開していく。

小学生らに演奏講座

取り組みを進めているA（じー）などが小き、平沢さんらが楽器演奏した。

のは、デザイン会社経営 学生を指導した。週一回、演奏を指導したのがきっかけ。平沢隆志さん（五）から音楽 全十回の講座は、子ども け。その活動は一年限り 別に関係なく同じ話題を好きの住民たち。 バンドを結成し、夏と秋 だったが、昨年度、市民 共有できるのが音楽。大

第一弾として十三日、の祭りで演奏を披露する センターとJIV Aの話 人と子どもが触れ合う場 茂庭台市民センターの市 のが目標だ。 し合いで「子どもたちにしたい」と話す。

民講座「Jポップに挑戦」 四年前に茂庭台小の音 に音楽活動の場を提供 ドラム担当で、茂庭台で、平沢さんがリーダー 楽クラブがなくなり、残 しよう」との話が持ち上 学区町内会連合会長の山 を務めるバンド「JIV 念がる児童らの話を聞 かり、講座開設が決まっ 口強さん（五）は「子ども

7月にも音楽倶楽部結成

の音楽活動の受け皿であり、学校以外でも集まれる場所としたいと強調。市民センターの大沼孝司館長は「音楽好きな人が多い地域。小中学生に音楽の良さを味わってほしい」と期待する。

今後の目標は、住民バンドが参加する茂庭台音楽倶楽部の結成で、七月にも発足する見通し。同倶楽部を中心に、地域独自の音楽祭開催も計画していく。

平沢さんは「や」と音楽が地域に根付いてきた。この延長線上に「いつでも音楽が流れるまち」があると思う。そんなまちにするためにも、地域の音楽祭を開きたい」と意気込む。

仙台・茂庭台小の児童9人

子どもバンド 結成

29日 地区夏祭りで演奏



仙台市太白区の茂庭台小の児童がバンド「Blue Ocean（ブルーオーシャン）」を結成し、二十九日に茂庭台市民センター前広場で行われる夏祭りで活動を始める。同市民センターの講

座から生まれたバンドで、地域住民が手掛ける「音楽に親しめるまちづくり」の一環。メンバーは「地域の人に格好いい姿を見せたい」と張り切っている。

夏祭りを前に、練習に力が入る小学生バンド「ブルーオーシャン」は茂庭台市民センター

ンバーは同小四年生三人、六年生六人。五月十三日から茂庭台市民セン

ターで全十回行われた講座「Jポップに挑戦」で練習してきた。キーボードの三人を除くと、ギターやベースを演奏するのは初めてだったが、二カ月余りでマスターした。

リーダーの北村百合佳さん（二）は「最初は全然弾けなかったけど、練習するうちにうまくなった。楽しんで演奏したい」とやる気十分だ。

講座は、音楽好きの住民十人が指導した。高橋桂子さん（三）は「誰でも始められることを、子どもたちを通して多くの人に伝えたい」と話す。

茂庭台では今春から、住民が「誰でも音楽に親しめるまち」を目指し活動に取り組んでいる。小学生バンドはその第一弾で、七月上旬には「茂庭台音楽倶楽部（くらぶ）」も結成した。